

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和2年1月～3月期の業況実績と、令和2年4月～6月期の見通しについて、管内681先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
外国人・海外情勢と中小企業	19

(注) 令和2年1月～3月を今期、令和元年10月～12月を前期、令和2年4月～6月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	204	190	93.1	29.8
卸売業	29	29	100.0	4.6
小売業	201	187	93.0	29.4
サービス業	121	117	96.7	18.3
建設業	97	88	90.7	13.8
不動産業	29	26	89.7	4.1
合計	681	637	93.5	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2020 年 1 月～3 月》

昨年 1 2 月に中国の湖北省武漢市で「原因不明のウイルス性肺炎」として症例が確認され、その後、武漢市から中国全土に感染が拡がり、中国以外の国と地域に拡大していった「新型コロナウイルス」。今年 1 月には日本でも感染者が確認され、米国・欧州へと飛び火し、3 月末には 1 8 0 以上の国と地域に感染が拡大した。この間、各国で様々な手が打たれたが高い効果は得られず、影響は長期化の様相を呈して、いまでは世界の工場といわれる中国の部品・製品が出入りしない状況を作った。さらには世界的な人・モノの流れの遮断が国内でも同様となり、経済活動の大きな抑制となっている。日本においては気運が盛り上がってきていた東京オリンピックが延期となり、地方においては様々な催事・行事が中止・延期となり、地域経済にも大きな打撃をもたらす事となった。

こうした中、当金庫営業地区の今期（令和 2 年 1 月～3 月）業況 D. I. は、 $\Delta 20.6$ （前期 $\Delta 9.5$ ）と悪化を示した。

地区内全般では、中国経済の著しい停滞・減速が世界に波及し、製造業を中心に打撃を与え、国内外での行動自粛による消費の低迷や暖冬の影響が加わって、全ての業種で業況悪化を示した。

地場産業でも同じ影響を受け、とくに飲食や宿泊など観光業の悪化が大きく、医療向けを除いた受注減少から繊維・雑品業、縫製業が、それに続いて悪化した。

来期（令和 2 年 4 月～6 月）の地区内における業況 D. I. は、 $\Delta 19.5$ と僅かながら改善を予想する。

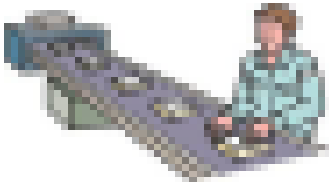
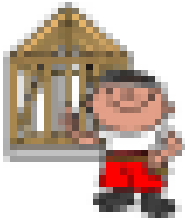
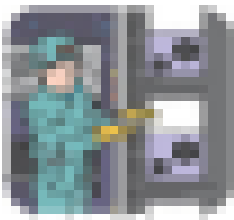
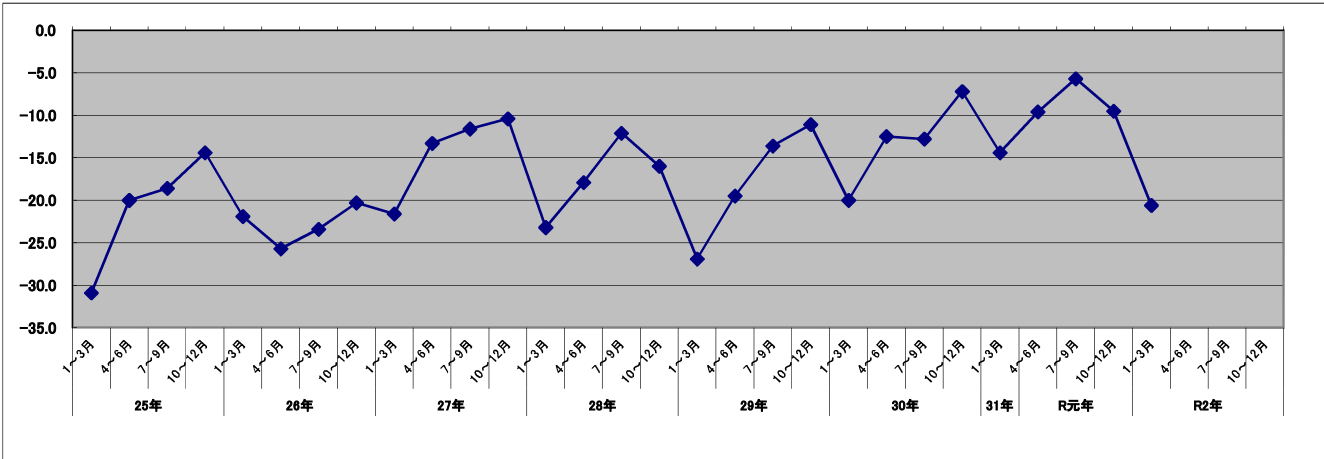
地区内全般では、春を迎えて気候が良くなる事や、入社・入学、異動のシーズンとなることから建設業や不動産業で動きが活発になる事を予想し、小売業・卸売業では中国の生産が回復しつつあることや、高額品を除いた消費の水準が現状よりも回復することに期待し、改善を予想している。製造業では、新型コロナウイルスの影響による、中国と、それ以外の国での経済停滞や一時生産中止等による受注減少を予想し、サービス業では、自粛ムードによる観光・レジャー・飲食などへの動きが一層鈍くなると見ており、悪化を予想している。

地場産業においては、電子部品・半導体製造で横這い、木材業・建具業・繊維・雑品業で改善を見込み、そのほかは悪化を予想している。中でも例年この時期に改善を示す観光業が悪化を予想しており、新型コロナウイルスの影響が、地方に深刻な打撃を与えている事を認めざるを得ない。

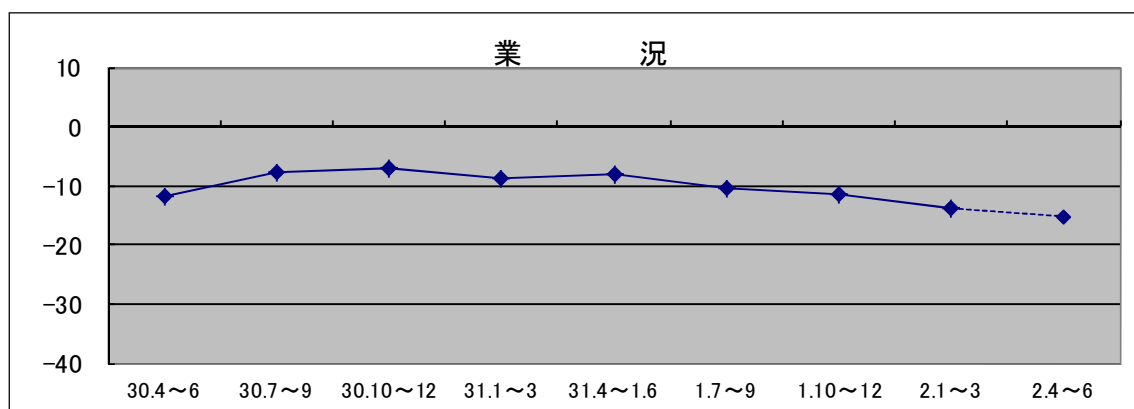
当面、この危機は世界に多大な影響を与えると予想されるが、我々は今までも多くの困難を克服してきた。こんなときこそ各界、各業態の垣根を取り払い、企業・個人が一致団結して感染抑止に協力し、この状況を打破していくことが大事である。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H25年	1~3月	△ 30.9	H29年	1~3月	△ 26.9
	4~6月	△ 20.0		4~6月	△ 19.5
	7~9月	△ 18.6		7~9月	△ 13.6
	10~12月	△ 14.4		10~12月	△ 11.1
H26年	1~3月	△ 21.9	H30年	1~3月	△ 20.0
	4~6月	△ 25.7		4~6月	△ 12.5
	7~9月	△ 23.4		7~9月	△ 12.8
	10~12月	△ 20.3		10~12月	△ 7.2
H27年	1~3月	△ 21.6	H31年	1~3月	△ 14.4
	4~6月	△ 13.3	R元年	4~6月	△ 9.6
	7~9月	△ 11.6		7~9月	△ 5.7
	10~12月	△ 10.4		10~12月	△ 9.5
H28年	1~3月	△ 23.2	R2年	1~3月	△ 20.6
	4~6月	△ 17.9		4~6月	
	7~9月	△ 12.1		7~9月	
	10~12月	△ 16.0		10~12月	



製造業



【概 況】

今期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は△13.7（前期△11.3）と2.4ポイント悪化を示した。

繊維・雑品ではマスク関連など医療向け製品が好調であったが、衣料向けのが低調であった。金属加工や機械部品製造、非金属加工についても動きが弱かった。ここまで比較的好調に推移してきた電子部品・デバイス製造も、来期は厳しい見方を予想している。製造業全体での人手不足感は解消されつつあるも、受注の減少予想が重くのしかかっている。

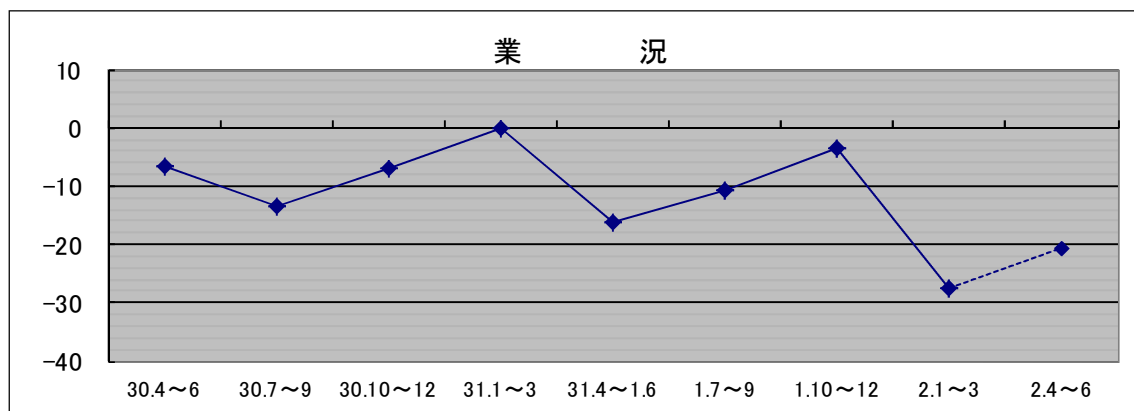
来期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△15.3と、更に悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）			令和2年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	△11.8	△7.7	△7.0	△8.7	△8.2	△10.4	△11.3	△13.7	△15.3
売 上	△3.4	△1.0	△6.0	△12.8	△4.1	△5.2	△3.6	△15.8	△14.7
収 益	△9.4	△6.6	△8.5	△12.2	△4.6	△7.8	△8.8	△16.3	△13.2
資金繰り	△9.9	△6.6	△4.5	△2.6	△2.0	△9.8	△11.3	△8.4	△11.1
人 手	△8.9	△10.7	△11.6	△11.8	△11.2	△11.9	△8.2	△6.8	△4.7
設 備	△9.9	△4.6	△3.5	△4.1	△6.6	△6.2	△5.2	△3.7	△3.2

経営上の問題点	当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.1%	提携先を見つける 29.6%
輸入製品との競争の激化	17.8%	販路を広げる 19.5%
同業者間の競争の激化	7.9%	経費を節減する 17.0%

卸売業



【概 況】

今期（R 2.1月～3月）業況D.I.は△27.6（前期△3.4）と大きく悪化を示した。生活雑貨、加工食品、木材、建築資材など、個人消費の低下に伴い低調であった。

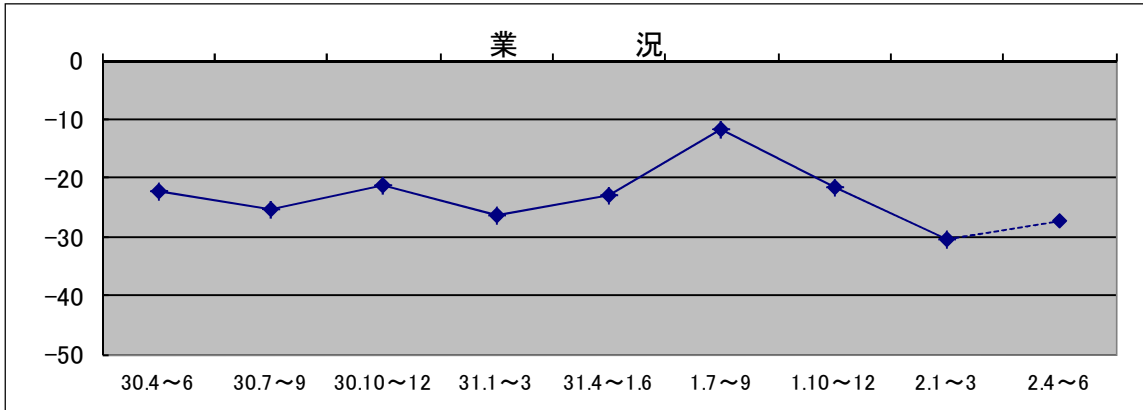
来期（R 2.4月～6月）の卸売業全体の見通しは、△20.7と若干の改善を予想するが、仕入れ価格の上昇傾向や取引先の減少など、売上減少や収益圧迫に対する声も聞かれ、見通しは厳しいものがある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	1~3月	4~6月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△6.5	△13.3	△7.1	0.0	△16.1	△10.7	△3.4	△27.6	△20.7
売 上	0.0	0.0	△3.6	△3.3	△12.9	△21.4	△3.4	△27.6	△17.2
収 益	△3.2	△3.3	△10.7	△10.0	△19.4	△17.9	0.0	△27.6	△13.8
資金繰り	△9.7	△6.7	0.0	△6.7	△9.7	△14.3	△6.9	△6.9	△10.3
仕入価格	12.9	10.0	0.0	6.7	△3.2	0.0	3.4	6.9	10.3
在 庫	3.2	3.3	△7.1	0.0	△3.2	3.6	3.4	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	19.7%	提携先を見つける	33.8%
合理化の不足	18.2%	経費を節減する	23.1%
取引先の減少	13.6%	販路を広げる	20.0%

小売業



【概況】

今期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は△30.5（前期△21.5）と0.9ポイント悪化を示した。新型コロナウイルス感染症による影響から、幅広い小売業種で業況の低迷がみられ、なかでも飲食店、呉服品・家電品・化粧品・生活雑貨品のほか、暖冬の影響もあって燃料・衣類販売などが厳しかった。

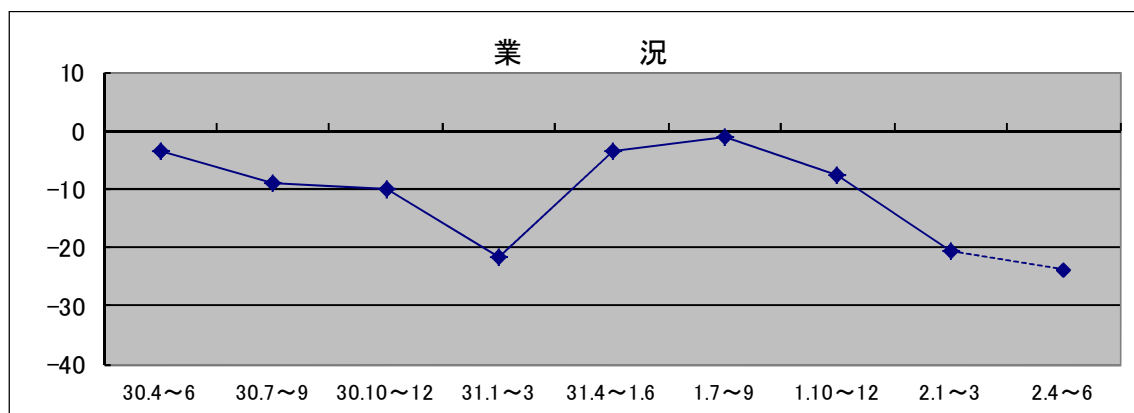
来期（R 2.4月～6月）業況D.I.については△27.3と若干の改善を予想する。ただ、良くなると予想するのは車輛販売や一部の食料品販売などに限られ、新型コロナウイルスの先行きによっては、出口が見えない状況となっていく可能性が高い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	1~3月	4~6月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△22.2	△25.5	△21.2	△26.4	△22.9	△11.6	△21.5	△30.5	△27.3
売上	△3.8	△9.5	△11.1	△16.1	△15.4	△2.1	△16.9	△27.8	△23.5
収益	△5.3	△12.0	△11.1	△16.6	△15.4	△2.6	△16.9	△27.3	△21.9
資金繰り	△13.9	△17.5	△20.2	△16.6	△12.9	△11.1	△7.7	△14.4	△12.8
販売価格	10.1	8.0	△2.0	△1.6	4.0	0.0	11.8	△4.3	△0.5
在庫	1.9	1.5	3.0	5.2	1.0	5.8	2.6	4.3	1.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.9%	仕入先を開拓・選別する	28.7%
地価の高騰	16.7%	経費を節減する	22.6%
商圏人口の減少	15.1%	宣伝・広告を強化する	11.8%

サービス業



【概 況】

今期（R 2.1～3月）業況D.I.は△20.5（前期△7.8）と悪化を示した。冬期間の積雪が少なく、観光人口落ち込みも少なかったが、年明け暫くしてからの新型コロナウイルスの影響によって徐々に人の動きが制限され、鈍くなったことが原因である。とくに旅館・民宿などの宿泊業のほか、クリーニング業、自動車修販業（钣金含む）、飲食業が大きな痛手を受けた。

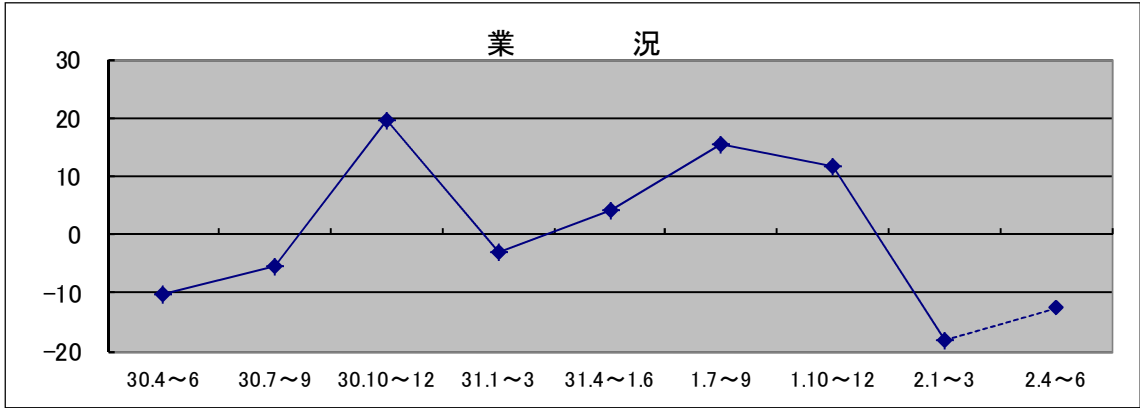
来期（R 2.4月～6月）のサービス業全体でのD.I.は、例年であれば改善が予想される時期であるが、同ウイルスによる影響の長期化、拡大が懸念されており、催事や行事の自粛・取り止めも十分想定され、△23.9と更に若干の悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△3.4	△9.0	△9.9	△21.7	△3.4	△1.0	△7.8	△20.5	△23.9
売 上	5.9	△6.6	△17.4	△20.8	△4.2	△2.0	△9.5	△23.9	△14.5
収 益	3.4	△12.3	△12.4	△19.3	△5.9	△3.0	△11.2	△23.9	△12.0
資金繰り	△7.6	△5.7	△5.8	△13.3	△13.6	△6.9	△10.3	△16.2	△12.8
料金価格	2.5	0.0	△1.7	0.0	5.9	2.0	5.2	1.7	0.0
設 備	△4.2	△4.9	△5.8	△8.3	△5.1	△5.9	△5.2	△3.4	△5.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
代金回収の悪化	16.5%	提携先を見つける	27.7%
売上の停滞・減少	14.9%	経費を節減する	18.5%
商圈人口の減少	13.7%	販路を広げる	12.0%

建設業



【概況】

今期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は△18.2（前期11.7）と大きく悪化を示した。公共工事は堅調であったが、暖冬により除雪工事が大幅に減少した。また、ここまで順調に推移してきた一般住宅や民間の工事が、ここに来て新型コロナウイルスによる影響で見直しせざるを得ない状況となることも予想され、今後の動向が注目されている。

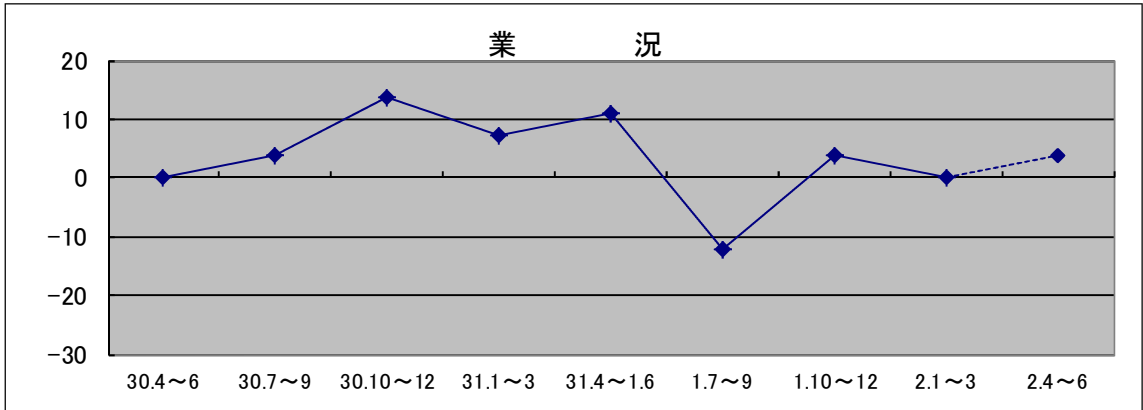
来期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は△12.5と改善を予想しているが、売上・収益の減少や、資金繰りを不安視する見方も多く、個人消費の行方や企業の設備投資の動向など、目が離せない。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年(令和1年)				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△10.1	△5.4	19.4	△3.2	4.2	15.4	11.7	△18.2	△12.5
売上	11.2	0.0	18.3	△10.8	6.3	15.4	13.8	△20.5	△3.4
収益	△1.1	△3.3	11.8	△9.7	2.1	9.9	10.6	△11.4	△9.1
資金繰り	△1.1	△4.3	3.2	0.0	2.1	△2.2	2.1	△13.6	△11.4
請負価格	4.5	△2.2	2.2	6.5	△4.2	1.1	11.7	△4.5	△2.3
人手	△10.1	△13.0	△20.4	△11.8	△23.2	△22.0	△25.5	△12.5	△12.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.8%	技術力を高める	27.3%
同業者間の競争の激化	16.8%	経費を節減する	20.2%
合理化の不足	11.2%	販路を広げる	9.9%

不動産業



【概況】

今期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は0.0（前期3.7）と悪化を示した。金沢地区とその近郊では相変わらず動きが見られるものの、その他の地区においては動きが鈍く、また、業者間でも景況感に差が出ている。

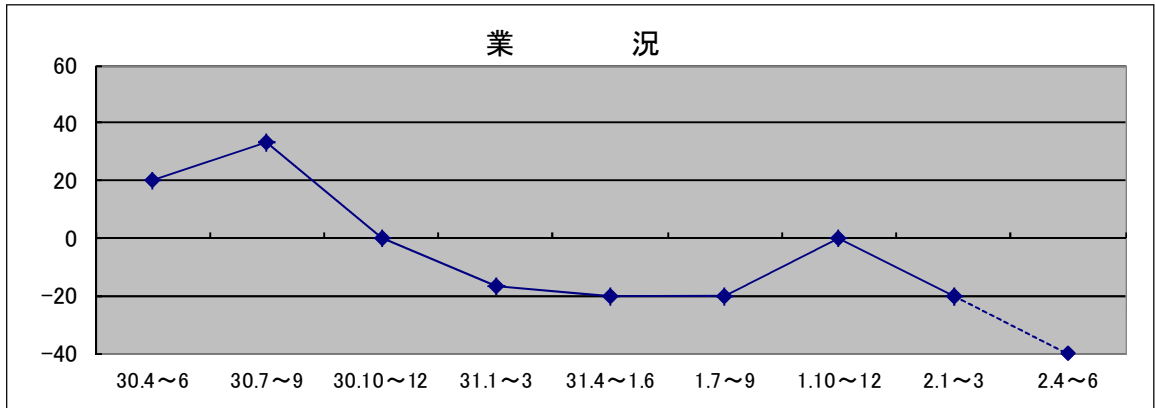
来期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は3.8と改善を予想しており、とくに金沢地区で改善を見込む先が多い。しかしながら新型コロナウイルスによる影響は当地においても日毎拡大しており、人・モノの流れ、設備投資計画の見直しなど、不動産業界にも影響を与えるものとなっている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）			令和2年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	0.0	3.8	13.8	7.1	11.1	△12.2	3.7	0.0	3.8
売上	15.4	0.0	13.8	7.1	7.4	△4.9	3.7	3.8	7.7
収益	11.5	3.8	10.3	3.6	7.4	△7.3	3.7	3.8	3.8
資金繰り	△11.5	△3.8	△6.9	△14.3	3.7	△7.3	3.7	△7.7	△7.7
販売価格	7.7	7.7	10.3	3.6	14.8	9.8	11.1	3.8	3.8
在庫	△3.8	△3.8	△6.9	△18.5	0.0	2.4	△3.7	0.0	△7.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	40.0%	提携先を見つける	16.2%
大手企業との競争の激化	28.0%	販路を広げる	13.2%
売上の停滞・減少	20.0%	経費を節減する	11.8%

能登地区の縫製業



【概況】

例年、1～3月は業況が良くないとの見通で、前期は業況D.I.の大幅な悪化を予想していたが、結果、そこまでではなかったものの、今期（R2.1月～3月）の業況D.I.は△20.0（前期0.0）と悪化を示した。

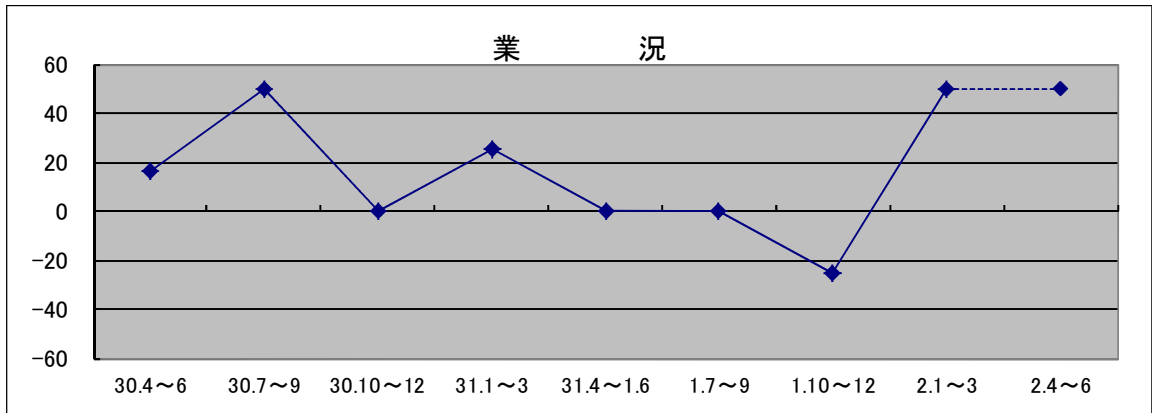
来期（R2.4月～6月）の業況D.I.は△40.0と更なる悪化を予想している。現在は、人手に見合った受注が確保できているが、今後コロナウイルスの影響が深刻化すれば、原材料価格の上昇や人手の確保難も予想され、消費の先行き不安からも楽観視できない状況となってきている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年(令和1年)			令和2年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	20.0	33.3	0.0	△16.7	△20.0	△20.0	0.0	△20.0	△40.0
売上	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	△40.0	20.0	△20.0	0.0
収益	0.0	0.0	20.0	0.0	△20.0	△40.0	0.0	△20.0	0.0
資金繰り	20.0	0.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	△20.0
人手	△20.0	△66.7	△40.0	△33.3	△20.0	△20.0	0.0	△20.0	△20.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△20.0	△20.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	37.5%	新製品・技術を開発する	21.4%
売上の停滞・減少	25.0%	販路を広げる	14.3%
人件費の増加	12.5%	工場・機械を増設・移転する	14.3%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概況】

今期（R 2.1月～3月）業況D.I.については50.0（前期△25.0）と改善を示した。

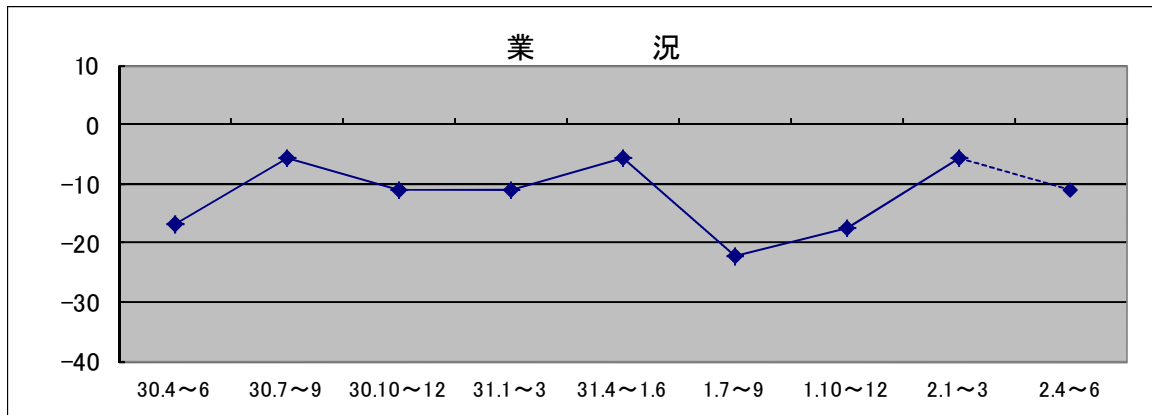
来期（R 2.4月～6月）の業況D.I.は50.0と横這いを予想するが、世界的に広がりつつあるコロナウイルス感染拡大の影響により、需要や中国を中心とした部品の供給に不安がある。今後も各国の動きから目が離せず、国内でも、人やモノの流れが長期に亘って停滞する恐れが予想されることから、見通しは予断を許さない状況にあるとしていることが窺える。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年(令和1年)			令和2年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	4~6月	
業況	16.7	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	△25.0	50.0	50.0
売上	16.7	50.0	0.0	0.0	△33.3	△100.0	25.0	50.0	0.0
収益	16.7	50.0	0.0	25.0	0.0	△100.0	0.0	50.0	0.0
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△50.0	△25.0	0.0	0.0
人手	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	△50.0	△50.0
設備	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	40.0%	経費を節減する	33.3%
人手不足	20.0%	提携先を見つける	33.3%
人件費の増加	20.0%	人材を確保する	16.7%

能登地区の漆器業



【概 況】

新型コロナウイルスの世界的影響から、多くはないものの海外からの観光客の減少がみられたが、今期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は△5.6（前期△17.6）と改善を示した。

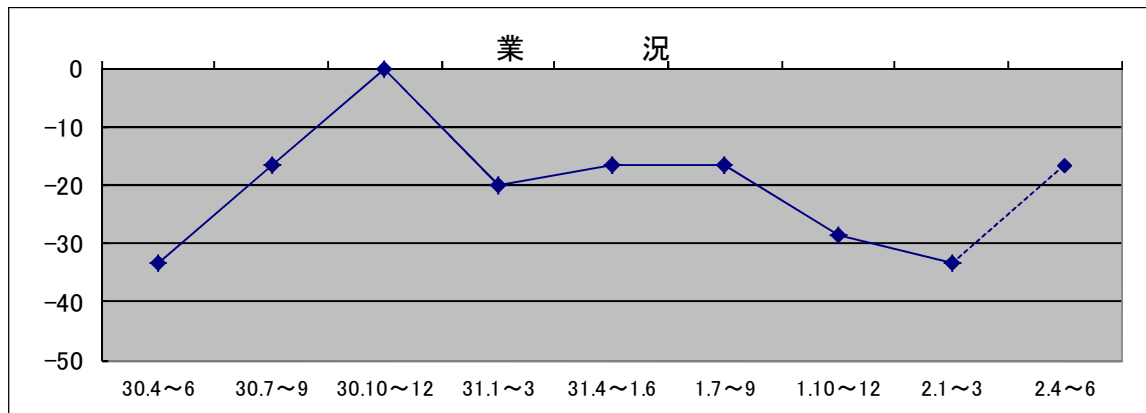
来期（R 2.4月～6月）は観光シーズンに向かい、通常であれば売上増加が期待できる時期となるが、コロナウイルスによる海外観光客の減少・入国禁止、国内観光客の減少、合わせて催事やイベント自粛の動きから、業況D.I.は△11.1と悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）			令和2年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業況	△16.7	△5.6	△11.1	△11.1	△5.6	△22.2	△17.6	△5.6	△11.1
売上	△11.1	11.1	△11.1	△5.6	△5.6	△5.6	0.0	△5.6	△5.6
収益	△11.1	11.1	△11.1	0.0	0.0	△11.1	0.0	△5.6	△11.1
資金繰り	△11.1	△5.6	0.0	0.0	△5.6	△38.9	0.0	△11.1	△11.1
人手	0.0	△11.1	0.0	△5.6	△11.1	△11.1	0.0	5.6	5.6
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.8%	提携先を見つける	20.7%
人件費の増加	18.8%	販路を広げる	13.8%
同業者間の競争の激化	12.5%	経費を節減する	10.3%

能登地区の木材業



【概況】

外材入荷量が持ち直してきたことから、地元木材単価は総じて下げ傾向となった。結果、今期（R2.1月～3月）の業況D.I.は△33.3（前期△28.6）と悪化を示した。

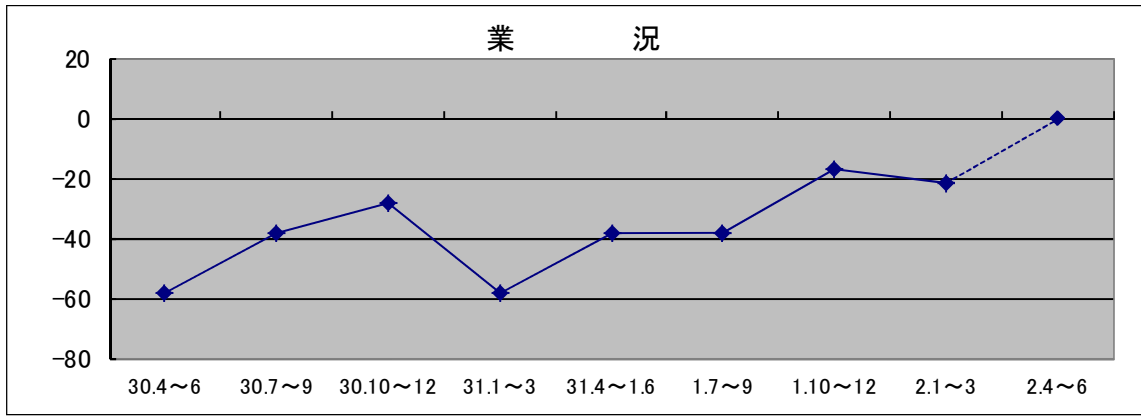
来期（R2.4月～6月）については、暖冬で積雪がないことから順調な入荷が予想され、業況D.I.は△16.7と改善を予想する。経営上の問題点としては、「輸入製品との競争の激化」が前回と変わらず多く、国内産木材使用にたいする、一層の優遇施策が期待されている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△33.3	△16.7	0.0	△20.0	△16.7	△16.7	△28.6	△33.3	△16.7
売上	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△28.6	△33.3	△33.3
収益	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△28.6	△33.3	△33.3
資金繰り	△16.7	△16.7	0.0	16.7	△16.7	△16.7	△28.6	△16.7	△16.7
人手	△16.7	△33.3	△20.0	△16.7	0.0	0.0	△14.3	0.0	0.0
設備	△16.7	△16.7	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	△16.7	△16.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	20.0%	提携先を見つける	27.8%
売上の停滞・減少	13.3%	経費を節減する	16.7%
人手不足	13.3%	販路を広げる	16.7%

能登地区の建具業



【概況】

例年落ち込む時期であるが、暖冬の影響で建設関連工事が前倒しで推移した流れを受け、今期（R 2.1月～3月）業況D.I.は△21.4（前期△16.7）と、僅かながらの悪化で推移した。

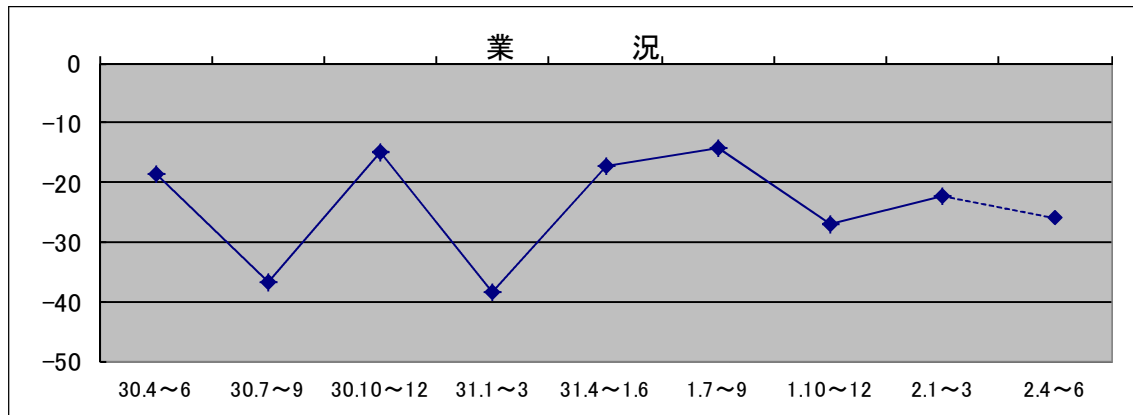
来期（R 2.4月～6月）の業況D.I.については、本格的な建設シーズンを迎えることから0.0と改善を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年（令和1年）				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△58.3	△38.5	△28.6	△58.3	△38.5	△38.5	△16.7	△21.4	0.0
売上	△25.0	△30.8	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△16.7	△21.4	0.0
収益	△16.7	△38.5	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△16.7	△21.4	0.0
資金繰り	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人手	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	38.9%	提携先を見つける	40.7%
同業者間の競争の激化	30.6%	販路を広げる	23.7%
大手企業との競争の激化	11.1%	経費を節減する	18.6%

能登地区の織布業



【概況】

今期（R 2.1月～3月）業況D.I.については△22.2（前期△26.9）と僅かながら改善を示した。

来期（R 2.4月～6月）のD.I.については△25.9と悪化を予想している。海外・国内ともに消費が低迷しており、受注の減少予想と原材料価格の上昇傾向、コロナウイルスの収束が見えてこないことから、収益悪化を予想する先は多い。

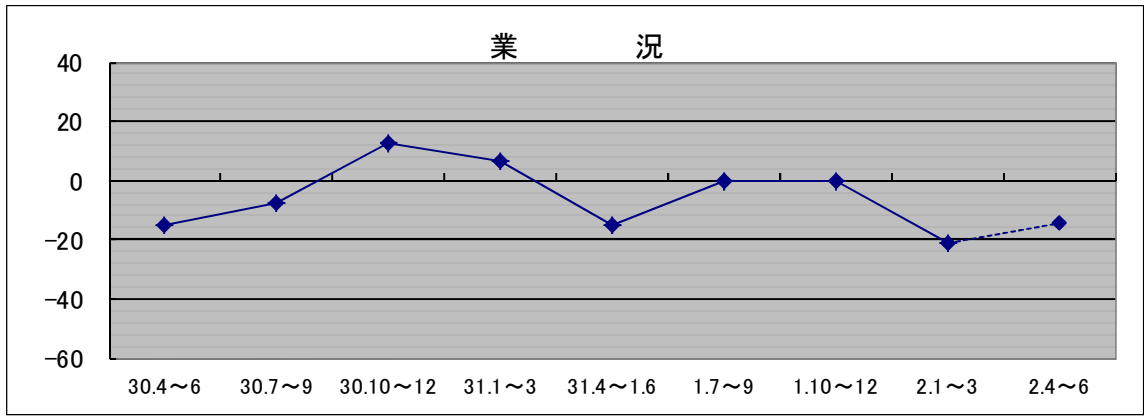
反面、人手を問題に挙げる企業は少なくなってきたが、受注が旺盛となったときの人手不足の対応に不安があり、先行き不透明から設備投資等を控えようとする動きもある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年(令和1年)				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△18.5	△36.7	△14.8	△38.5	△17.2	△14.3	△26.9	△22.2	△25.9
売上	△11.1	△30.0	0.0	△38.5	△13.8	△7.1	△19.2	△22.2	△22.2
収益	△11.1	△30.0	△3.7	△38.5	△13.8	△7.1	△19.2	△18.5	△14.8
資金繰り	△3.7	△13.3	△11.1	△19.2	△6.9	△10.7	△15.4	△11.1	△11.1
人手	△3.7	△10.0	△11.1	△3.8	△17.2	△17.9	△11.5	△11.1	△7.4
設備	0.0	△3.3	△3.7	3.8	△10.3	△7.1	△7.7	△7.4	△7.4

経営上の問題点		当面の重点施策(経営のポイント)	
輸入製品との競争の液化	22.5%	提携先を見つける	27.8%
売上の停滞・減少	17.6%	販路を広げる	20.8%
地場産業の衰退	7.8%	経費を節減する	15.3%

能登地区の繊維・雑品業



【概況】

今期（R 2.1月～3月）業況D.I.は△21.4（前期0.0）と悪化を示した。暖冬とコロナウイルスの影響により、服飾など季節商品の売れ行きが悪く、小ロット受注などから、売上・収益ともに悪化がみられた。

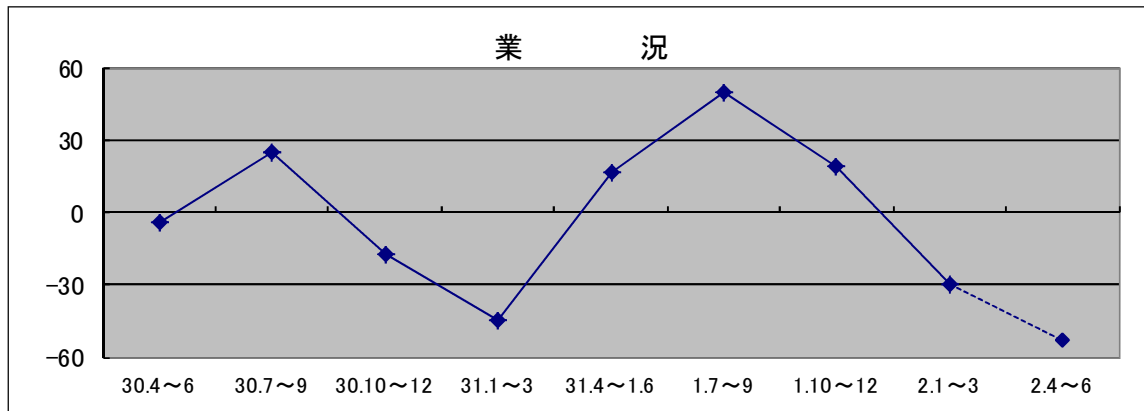
来期（R 2.4月～6月）の業況D.I.については△14.3と改善を予想している。ただ、業界内でも格差が大きく、医療向けの特殊高機能繊維に関わるゴム入り細巾織物製造は安定しているが、レース業（エンブ等）においては受注減少から苦戦している。世界的な感染広がりをみせているコロナウイルスから、マスクに関する受注は多く、対応に追われている先もある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年(令和1年)				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△15.4	△7.7	12.5	6.7	△15.4	0.0	0.0	△21.4	△14.3
売上	15.4	△7.7	25.0	0.0	0.0	7.7	△7.1	△28.6	△14.3
収益	15.4	△7.7	6.2	△6.7	△7.7	△7.7	0.0	△21.4	△7.1
資金繰り	△7.7	△15.4	△12.5	△6.7	0.0	△7.7	△7.1	△7.1	△7.1
人手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.7%	提携先を見つける	36.4%
輸入製品との競争の激化	22.7%	販路を広げる	24.2%
工場・機械の狭小・老朽化	9.1%	経費を節減する	15.2%

能登地区の観光業



【概 況】

暖冬で降雪もほとんど無く、観光入込客は順調に推移したが、今期（R 2.1月～3月）の業況D.I.は△29.4（前期18.8）と悪化を示した。

来期（R 2.4月～6月）は春の観光シーズンを迎えるが、業況D.Iは△52.9と、更なる悪化を予想している。新型コロナウイルスによる自粛ムードから、団体を中心として観光入込客の減少が続くことが予想され、海外からのインバウンドもまったく期待出来ず、先行きが不透明となっている。業界では収束が見えない現状を危惧するも、打つ手が見出せない状況にある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成30年			平成31年(令和1年)				令和2年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△4.5	25.0	△17.6	△44.4	16.7	50.0	18.8	△29.4	△52.9
売 上	36.4	45.0	△52.9	△38.9	44.4	57.1	△6.2	△35.3	△35.3
収 益	31.8	40.0	△47.1	△29.4	33.3	57.1	△6.2	△35.3	△35.3
資金繰り	△4.5	△10.0	△5.9	△16.7	△22.2	△7.1	0.0	△35.3	△29.4
料金価格	4.5	0.0	5.9	0.0	5.6	0.0	12.5	5.9	△5.9
設 備	0.0	△5.0	△5.9	△11.1	△11.1	△21.4	△6.2	△11.8	△23.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	18.8 %	経費を節減する	27.5%
売上の停滞・減少	14.6%	提携先を見つける	25.0%
人手不足	8.3%	宣伝・広告を強化する	20.0%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
30年 4月	1.98	153.4	11.4
30年 5月	1.96	143.5	10.0
30年 6月	1.99	154.9	10.8
30年 7月	1.98	150.8	10.1
30年 8月	1.97	144.6	9.3
30年 9月	2.00	147.7	10.3
30年 10月	2.02	149.7	10.5
30年 11月	2.06	154.6	11.3
30年 12月	2.07	147.6	10.4
31年 1月	1.99	133.4	9.5
31年 2月	1.95	142.5	10.0
31年 3月	1.91	143.5	10.3
31年 4月	1.95	148.8	10.4
1年 5月	1.88	137.1	9.7
1年 6月	1.97	148.0	9.8
1年 7月	2.00	150.3	9.8
1年 8月	2.03	141.8	9.4
1年 9月	2.00	146.0	10.2
1年 10月	1.92	146.5	10.1
1年 11月	1.89	149.4	10.1
1年 12月	1.89	147.7	9.7
2年 1月	1.73	134.4	8.2

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	
		前年同月比
30年 4月	101.8	1.2
30年 5月	102.1	1.1
30年 6月	101.9	1.1
30年 7月	102.0	1.5
30年 8月	102.7	1.9
30年 9月	102.5	1.6
30年 10月	102.9	1.9
30年 11月	102.5	1.0
30年 12月	102.2	0.4
31年 1月	102.0	0.0
31年 2月	101.9	-0.1
31年 3月	102.5	0.6
31年 4月	102.9	1.1
1年 5月	102.9	0.8
1年 6月	102.4	0.5
1年 7月	102.3	0.3
1年 8月	102.8	0.1
1年 9月	102.7	0.2
1年 10月	103.3	0.4
1年 11月	103.2	0.7
1年 12月	103.1	0.9
2年 1月	103.0	0.9
2年 2月	102.6	0.7

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
30年 4月	199	1,734	17,497	122,421
30年 5月	264	2,021	17,252	120,483
30年 6月	328	2,606	16,975	118,645
30年 7月	276	2,550	16,687	117,047
30年 8月	269	2,279	16,469	115,686
30年 9月	254	1,806	16,183	114,207
30年 10月	281	2,691	15,972	112,457
30年 11月	235	2,204	15,818	111,698
30年 12月	282	2,345	15,640	110,858
31年 1月	184	2,429	15,480	109,852
31年 2月	254	2,061	15,311	109,014
31年 3月	303	2,902	15,003	107,844
31年 4月	266	2,305	14,870	107,380
1年 5月	265	2,147	14,723	106,560
1年 6月	318	2,501	14,563	105,931
1年 7月	315	3,079	14,403	105,560
1年 8月	291	2,371	14,280	105,204
1年 9月	307	2,493	14,167	104,868
1年 10月	253	1,899	14,016	104,188
1年 11月	292	3,129	13,873	103,849
1年 12月	321	3,060	13,750	103,852
2年 1月	223	2,433	13,699	103,526
2年 2月	239	2,216	13,597	102,959

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	企業倒産件数	
	件数	金額
30年 3月	8	851
30年 4月	2	20
30年 5月	5	497
30年 6月	10	419
30年 7月	9	964
30年 8月	6	534
30年 9月	4	296
30年 10月	7	281
30年 11月	6	2,561
30年 12月	2	36
31年 1月	9	571
31年 2月	5	1,931
31年 3月	5	364
31年 4月	6	109
1年 5月	7	415
1年 6月	7	107
1年 7月	9	281
1年 8月	6	591
1年 9月	8	417
1年 10月	5	414
1年 11月	5	601
1年 12月	3	30
2年 1月	8	1,916
2年 2月	8	910

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
30年 3月	86	16,297	578	59
30年 4月	131	24,775	665	66
30年 5月	130	27,119	623	61
30年 6月	119	24,423	742	70
30年 7月	84	15,406	642	62
30年 8月	93	18,067	645	59
30年 9月	103	19,681	725	66
30年 10月	143	25,960	723	66
30年 11月	128	22,801	660	69
30年 12月	89	15,101	606	54
31年 1月	78	16,724	490	47
31年 2月	91	17,691	727	74
31年 3月	116	24,600	732	76
31年 4月	162	30,811	782	75
1年 5月	103	17,880	569	59
1年 6月	120	21,572	1,001	86
1年 7月	97	19,022	689	62
1年 8月	113	22,725	612	60
1年 9月	100	15,630	598	57
1年 10月	97	17,816	745	66
1年 11月	141	29,300	740	70
1年 12月	98	27,393	552	50
2年 1月	76	13,352	456	44

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
30年 3月	195	8,793
30年 4月	477	60,033
30年 5月	310	17,948
30年 6月	506	14,439
30年 7月	565	12,481
30年 8月	513	10,562
30年 9月	536	14,840
30年 10月	545	13,762
30年 11月	466	7,732
30年 12月	370	6,427
31年 1月	113	10,977
31年 2月	513	7,774
31年 3月	229	8,061
31年 4月	447	51,963
1年 5月	437	28,033
1年 6月	545	14,207
1年 7月	628	19,993
1年 8月	426	10,617
1年 9月	506	15,203
1年 10月	538	15,128
1年 11月	421	8,984
1年 12月	337	6,335
2年 1月	271	6,562
2年 2月	224	7,833

資料:東日本建設業保証(株)(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
30年 3月	6,047	3,069
30年 4月	2,545	1,539
30年 5月	2,702	1,464
30年 6月	3,225	1,791
30年 7月	3,442	1,765
30年 8月	2,522	1,324
30年 9月	3,401	1,914
30年 10月	3,182	1,598
30年 11月	3,285	1,884
30年 12月	2,573	1,361
31年 1月	2,400	1,506
31年 2月	3,547	1,905
31年 3月	5,850	2,901
31年 4月	2,511	1,570
1年 5月	2,731	1,608
1年 6月	3,271	1,780
1年 7月	3,505	1,701
1年 8月	2,563	1,601
1年 9月	3,702	2,183
1年 10月	2,037	1,322
1年 11月	2,618	1,401
1年 12月	2,412	1,201
2年 1月	2,199	1,338
2年 2月	3,132	1,818

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
30年 4月	60,206	11,800
30年 5月	67,787	16,300
30年 6月	63,858	12,900
30年 7月	63,816	15,500
30年 8月	98,503	23,300
30年 9月	69,984	14,300
30年 10月	79,254	17,800
30年 11月	84,619	17,300
30年 12月	74,360	10,800
31年 1月	54,447	9,200
31年 2月	60,461	9,700
31年 3月	74,459	12,100
31年 4月	58,625	13,200
1年 5月	63,596	16,700
1年 6月	60,805	13,300
1年 7月	58,182	14,100
1年 8月	92,608	20,700
1年 9月	65,094	14,600
1年 10月	67,084	15,400
1年 11月	80,191	16,800
1年 12月	67,743	11,200
2年 1月	53,477	8,800
2年 2月	53,368	10,400

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

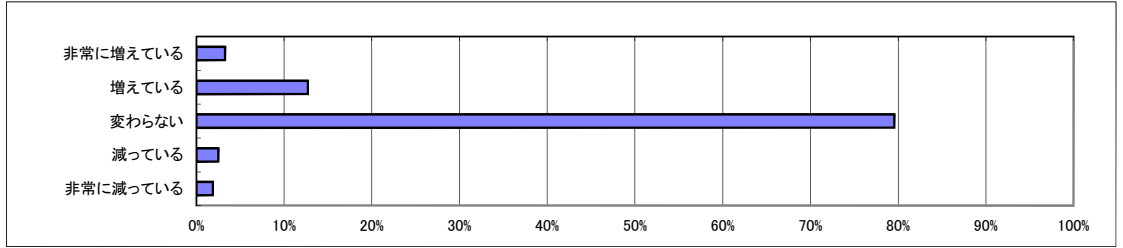
◆ 織物生産高

(千㎡)

	合計
30年 4月	21,367
30年 5月	21,041
30年 6月	22,518
30年 7月	22,899
30年 8月	20,669
30年 9月	21,934
30年 10月	23,621
30年 11月	22,945
30年 12月	21,010
31年 1月	21,040
31年 2月	21,580
31年 3月	23,248
31年 4月	22,002
1年 5月	22,017
1年 6月	22,592
1年 7月	23,924
1年 8月	20,338
1年 9月	22,278
1年 10月	24,547
1年 11月	22,574
1年 12月	21,202
2年 1月	19,145

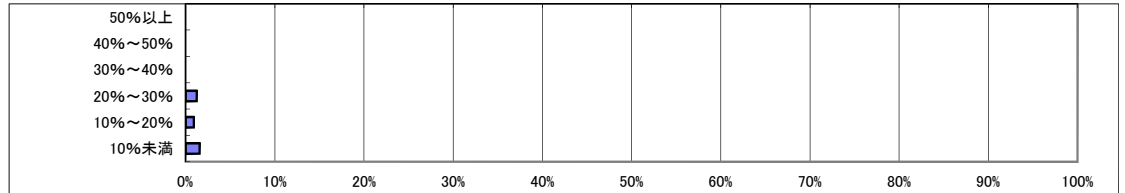
資料:石川県企画開発

問1. 貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか。

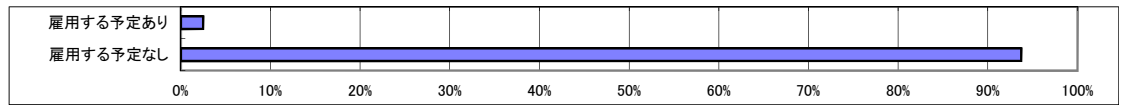


問2. 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している方は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。雇用していない方は、今後雇用する予定があるかお答えください。

【外国人労働者
雇用している

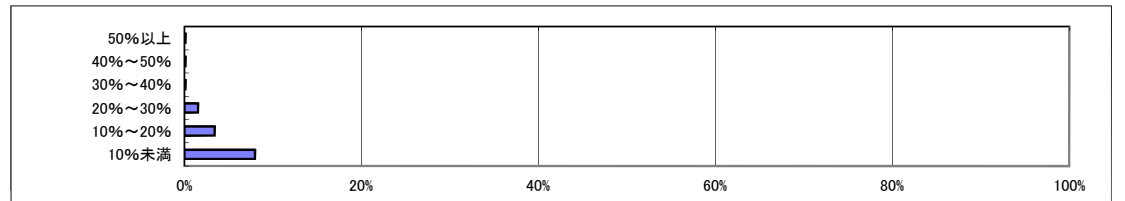


雇用していない



問3. 貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出含む)はどれくらいですか

【外国向けの
売上がある】

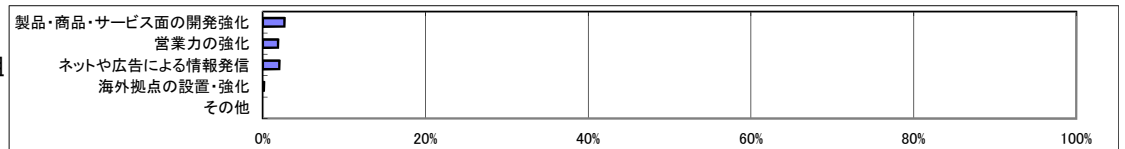


外国向けの売上はない

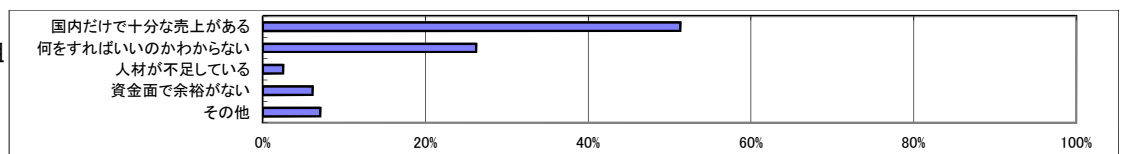


問4. 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取り組みを行っていますか。

【外国向けの取組
みを行っている】



【外国向けの取組
みを行っていない】



問5. 貴社では、経営上、特に注目している海外情勢はありますか。

